

“ロータリー平和フェローとなって”

第2780地区での講演

Uduak Udofia

2025年3月8日



概要

01 私のこと

02 ロータリー平和フェローシップ
奨学生としての経歴

03 私の研究の焦点

04 今後の計画



私のこと

Uduak Udofia
ナイジェリア出身

弁護士歴 - 22年
ナイジェリア弁護士会
女性フォーラム
メンタリング委員会委員長
調停者 - 8年
交渉人 - 7年

3人のティーンエイジャーの母
女性の権利擁護者



WiMNet FCDO リソース変更プロジェクト



ロータリー平和フェローとしての旅立ち



読み聴かせ & 茶道体験

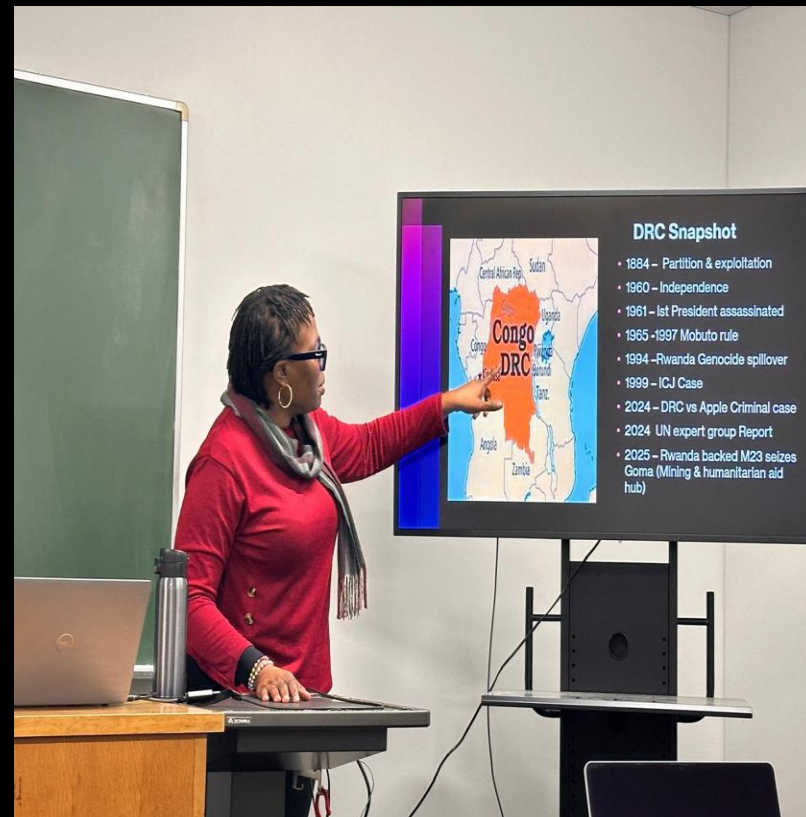




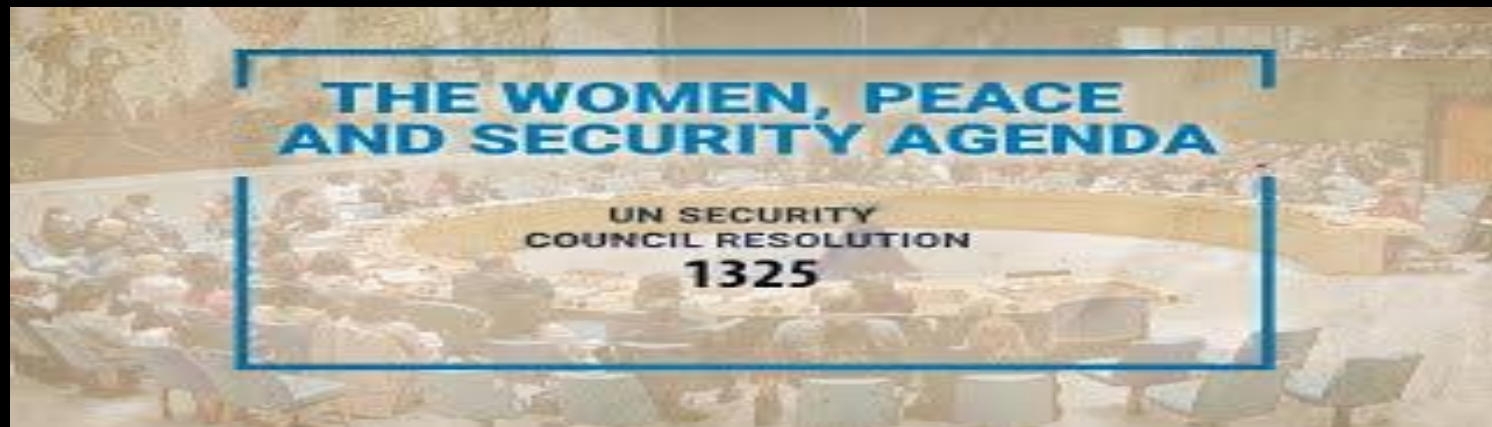
ロータリー平和フェローとなって

- 奨学生がロータリー平和フェローシップのリンクを平和ネットワーク内で共有しました。
- 平和フェロー卒業生が実際に私をガイドしてくれました。
- 他のフェローたちが平和にどのような影響を与えるかを知る機会を得ました。
- 研究とセミナーへの参加の日々を送っています。
- 私は自分のコースのテーマ領域に関する論文を書いています。
- 他の文化に触れることが、協力関係の構築に繋がります。

セミナーでの発表



WPS（女性の平和と安全保障） アジェンダのビデオ概要



研究の焦点（フォーカスポイント）

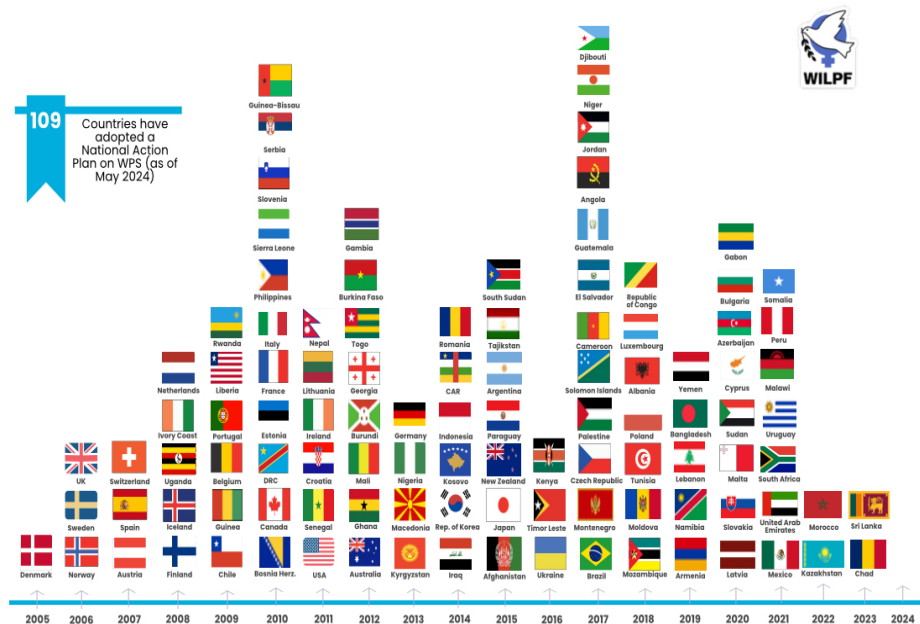
私の研究の焦点は、国連安全保障理事会の
女性の平和と安全保障に関する決議
(WPS) のローカライズにあります。

私は、国家行動計画を通じて、WPS がウガ
ンダでどのようにローカライズされている
かを研究しています。

私の研究テーマには、平和に対する先住民
のアプローチがWPSに関する国家行動計画
にどのように反映されているかということ
も含まれています。

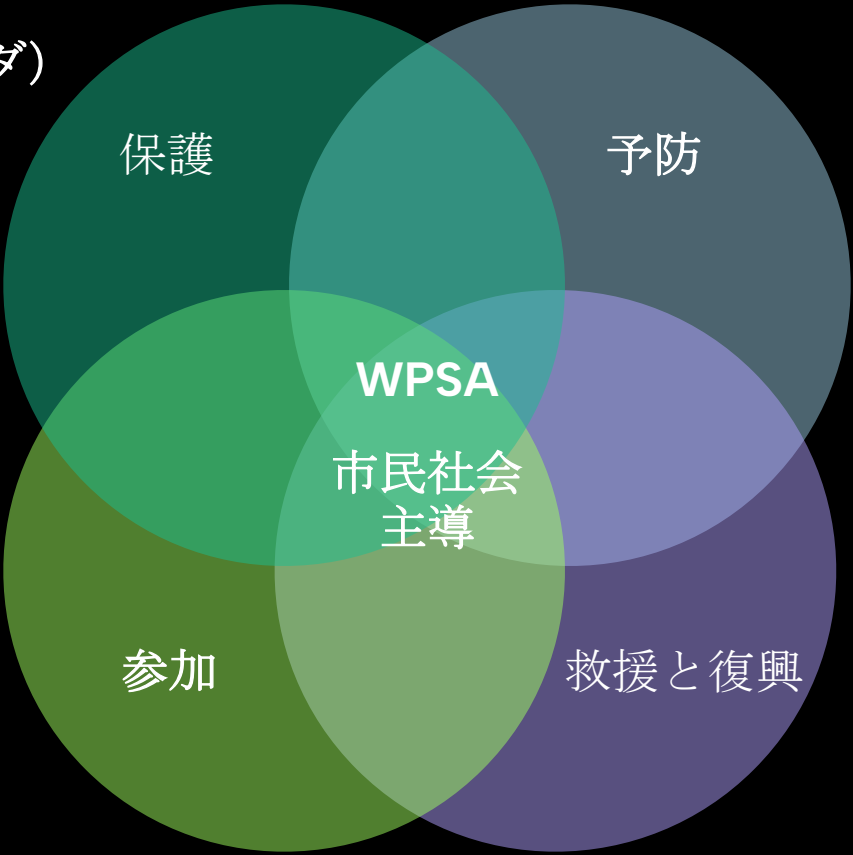
そして、これらがどのように平和に貢献す
るかということもです。

EXPLORE BY COUNTRY



翻訳の結果
救援と復興

WPSA (WPSアジェンダ)
の4つの柱



コラボレーションが 重要な理由

- リソースの活用
- 規模のインパクト
- より良い世界の構築



将来の計画

1. 平和研究分野での博士号の取得
1. ロータリー平和フェローシップ
にアクセスできる人をもっと増
やす
1. WPSA分野の組織へのコンサル
ティング



結び

文化に配慮し、ジェンダーに配慮した方法で平和を構築することは、前向きで持続可能な平和を達成するための主要な方法です。



ホストカウンセラーの鈴木世界[●]
さんにご家族に、

大箭さんと平和フェロー・奨学
金委員会の皆さんに、

ホストクラブ・茅ヶ崎湘南ロ
ータークラブのすべてのサポ
ートに感謝します。